

環境経営レポート

活動期間： 2023年4月1日～2024年3月31日



有限会社 東信社

作成日
2024年9月3日

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 実施体制
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標(中長期)
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績と評価
8. 環境経営活動の結果と評価・次年度の取組
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反訴訟などの有無
10. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要

- 1 名称及び代表者名
事業所名 有限会社 東信社
代表取締役 若狭 映子
- (2) 所在地 本社 386-0032 長野県上田市諏訪形1307-5(登記上)
事務所 386-0027 長野県上田市常磐城5丁目763-2
TEL 0268-75-0234
FAX 0268-21-0235
E-mail toushinsya@dia.janis.or.jp
HP to-sin.jimdo.com
- (3) 事業内容
一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬
- (5) 事業の規模
創立 昭和60年7月
法人登録 平成12年4月
資本金 300万円
売上高 5,200万円(2023年度実績)
敷地面積
本社 42.6㎡
従業員 7名
一般廃棄物収集運搬量 696t
産業廃棄物収集運搬量 107t

2. 対象範囲

- ・全組織、全活動、全従業員が対象である
- ・事業年度・対象年度：4月～3月

3. 許可内容

許可：産業廃棄物収集運搬
許可番号：長野県2001071080
期間：令和2年7月11日～令和7年7月10日

取り扱う産業廃棄物	収集運搬	リサイクルしているもの
燃え殻		
汚泥	○	
廃油	○	
廃酸	○	
廃アルカリ	○	
廃プラスチック	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残さ	○	○
ゴムくず	○	
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鋳さい	○	
がれき類	○	○

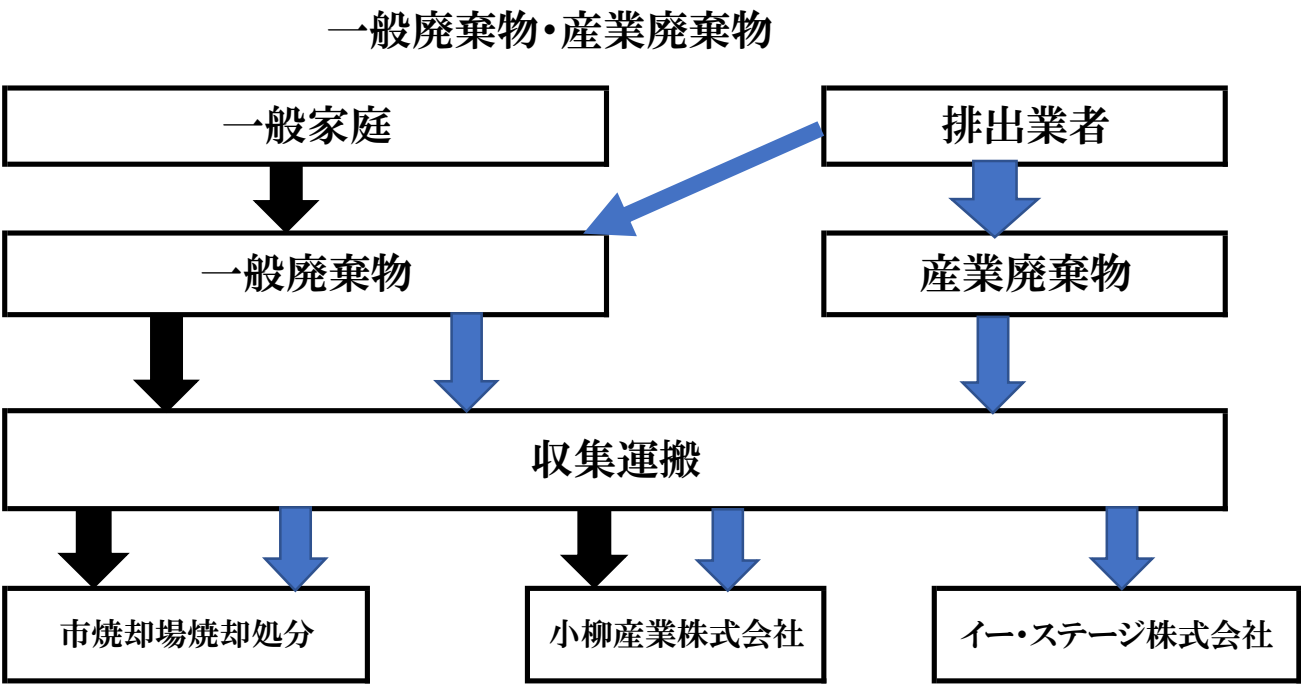
許可：一般廃棄物収集運搬
許可番号：上田市1004
期間：2024年4月1日～2026年3月31日

取り扱う一般廃棄物	収集運搬	リサイクルしているもの
廃プラスチック	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
金属くず	○	○
ガラスくず	○	○
陶器くず	○	○
生ごみ	○	○

車両台数

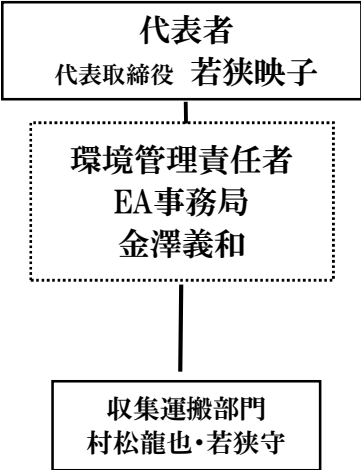
ハッカー車	4t車	2台
	2t車	2台
ユニック	4t車	1台
平ボディー	2t車	1台
フックロール	2t車	1台
ウイング	4t車	1台
ダンプ	2t車	1台
軽トラック		2台

収集運搬フロー図



4. 実施体制

1) 組織図



2) 責任及び権限

代表者	・ 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ・ システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 ・ 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	・ 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 ・ 環境関連法規等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 ・ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。 ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	・ 環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 ・ 環境目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ ・ 環境経営レポートの作成、公開（社内に備付けと地域事務局への送付） ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
全従業員	・ 環境経営方針、環境経営目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 ・ 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案 ・ 異常時、緊急時の報告

5. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

有限会社東信社は、産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬の事業活動を通して環境への負荷をできる限り低減させ、循環型社会の構築に努め、地域に根ざした事業者になる事を目指します。

【基本方針】

1. 環境関連の法規と条例及び私達が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境マネジメントシステムを構築し、環境活動計画を定め継続的に改善を図ると共に環境汚染の防止や環境保全に努めます。
 - ① 廃棄物の削減に取り組み再資源化につとめます。
飼料堆肥化・分別のご提案をさせて頂き、削減・再資源化に推進いたします。
 - ② 作業の効率化・エコドライブを図り、軽油・ガソリン等の化石燃料の削減に努めます。
 - ③ 電気使用量の削減
 - ④ 水使用量の削減
 - ⑤ グリーン購入の促進
3. 環境教育を通じて、全従業員の環境意識を高め、関心を持ち行動できるようにします。
4. この環境経営方針は、全社員に周知徹底すると共に、一般に公開します。

制定日：2020年6月1日

有限会社 東信社
代表取締役 若狭 映子

6. 環境経営目標（中長期）

4月1日～3月31日

項 目		単 位	基準値(2021年)	2024年目標	2025年目標	2026年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	41,549	40,303	39,887	39,472
		(%)	100%	97%	96%	95%
	電力	kWh	1,978	1,919	1,899	1,879
	ガソリン	ℓ	3,186	3,090	3,059	3,027
	軽油	ℓ	12,416	12,044	11,919	11,795
	都市ガス	m ³	46	200	200	200
	一般廃棄物	kg	87	80	80	80
水使用量		m ³	70	80	80	80

中部電力(株) 2020度 二酸化炭素排出係数 0.406kg-CO2/kWhを使用

6. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素削減について

電気使用量の削減	節電の徹底	→	事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する
		→	事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理	→	未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	退社時電源チェック	→	目視確認
	クールビズの徹底	→	毎年5月から10月まで実施する

全車両(会社所有、通勤車両)に適用する

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→	急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップの実施	→	エンジン停止、空ふかし排除
	運行車両の削減	→	乗り合わせなどにより運行車両を減らす
	車両管理の徹底	→	車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底	→	最適運行最短距離の選択

廃棄物排出量の削減	一般可燃ごみ削減	→	無駄なコピーをしない／不要な資料の削減 再利用の促進(コピー用紙裏表利用)
	混合廃棄物の分別	→	産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う

(2) 水使用量の削減

節水の徹底	→	清掃時、手洗い時節水を各自にて行う
-------	---	-------------------

7. 環境経営目標の実績と評価

2023年4月～2024年3月					
項目		基準値 (2021年度)	2023年度 目標値		2023年度実績
CO2総排出量(kg-CO2)		41,549		41,134	39,354
電力	kWh	1,978		1,958	2,243
	kg-CO2	875		794	1,090
ガソリン	ℓ	3,186		3,154	2,328
	kg-CO2	6,987		7,033	5,400
軽油	ℓ	12,416		12,292	12,545
	kg-CO2	37,314		31,713	32,367
都市ガス	m ³	59		46	203
	kg-CO2	127		99	496
上水道	m ³	70		69	81
一般廃棄物	kg	98		86.0	81.9

中部電力㈱ 2020年度 二酸化炭素排出係数 0.406kg-CO2/kWhを使用

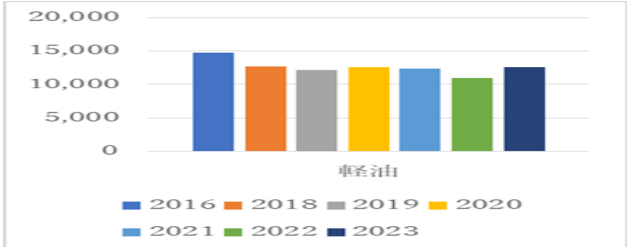
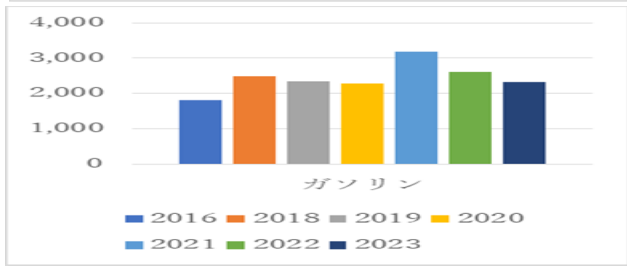
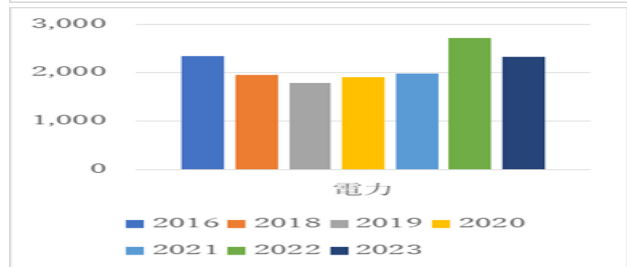
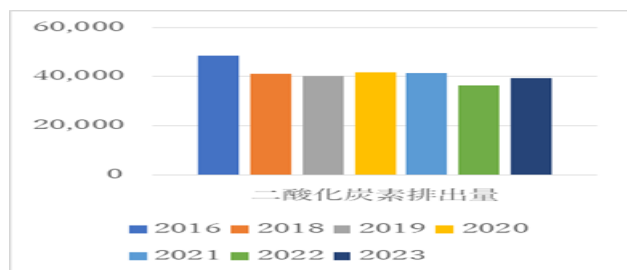
2023年度実績の評価

- (1) 電力
期間中における使用量は285kwh増だった、エアコンの使用方法を工夫して今後も節電に努
- (2) 軽油、ガソリン
ガソリンは、減量できた。
軽油は、253Lの増加となった
今後も節約に努める。
- (3) 上水道
増加になったが今後も節減に努める。
- (4) 一般廃棄物
削減できた今後も維持できるようにします。
- (5) 都市ガス
灯油よりも、CO2排出量が、少ないということから、ガストーブを主に使用することにより、
使用料が増加した。

8. 環境経営活動の結果と評価、次年度の取り組み

○できた △まあまあできた ×できなかった

	活動計画	取組の結果	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	・不在時の節電(消灯)	不在時間消灯ほぼできた	○	更に1分でも節電に努める
	・待機電気機器のスイッチ節電	コンセントから抜くことを実施した	○	継続していく
	・使用量、使用料金の把握	把握しながら取り組むことができた。	○	今後も把握し節電に努める
	・ガソリン使用量の削減	前年度より削減出来た	○	昨年同様、車両の適正な管理に取り組む
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	資料を作成した	○	ミーティングの議題に理解を深める
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	春・冬共に早めに行動出来た	○	適正時期に早めに対応する
	・軽油使用量の削減	削減出来た	△	今後も効率の良い仕事に努める
廃棄物削減	・一般廃棄物の削減	事務所のごみ排出量は微動だった	○	今後も継続して取り組みたい
用水	・水使用量削減	使用量は、少ない	×	今後も節水に努める。
業務改善	・身の回り/職場の整理・整頓(毎週)	5S活動の推進しているがまだまだ！	△	今後も整理・整頓に努める



・電力使用量の削減

期間中における使用量は285kwh増加、エアコンの使用方法を工夫して今後も節電に努める。

・ガソリン 燃料使用量の削減

使用車両の見直し・収集ルートの見直しにより削減できた。
次年度も継続して削減に取り組む。

・軽油 燃料使用量の削減

軽油は、253Lの増加。2tダンプ車両が増えた為。今後も節約に努める。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反及び訴訟の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

注) チェック欄…○遵守 ×不遵守

環境関連法規等の名称	当社の対応	判定
廃棄物処理法	県知事許可証確認	○
	5年毎の更新(次回更新日 令和7年7月10日)	○
	運搬車両にステッカー貼付	○
	許可書備え付け	○
	マニフェストの備え付け(その都度)	○
	マニフェストの保管(5年間)	○
	収集運搬実績の県知事への報告(年1回)	○
	委託契約書の締結確認(随時)	○
	委託契約書の保管管理	○
道路交通法	廃棄物が飛散し、流出し、悪臭が漏れることのないよう必要な措置	○
	収集・運搬に伴う悪臭、騒音振動によって生活環境の保全環境上支障が生じないよう必要な措置	○
	廃棄物の荷崩れ防止の為の固定ベルトの使用	○
	車両の法定点検・日常管理	○
	安全運転の実施	○
	積載量の遵守・法定速度の遵守	○

2024年9月3日

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3 年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体の評価・指示

取り組み状況の評価結果

- ・環境関連法規規制の遵守状況

2024年9月3日 に実施した結果順守されている。

- ・問題点の是正 / 処置及び予防処置の状況

電力使用量観察

夏季の熱中症対策として、エアコン使用時間の増加

エアコンの電気代が増加と考え、古いエアコンの電力使用も考慮して、エアコン本体の交換を考えてます。

室内の温度を 26度として温度計で確認しながら電力使用量を把握してい

- ・代表者の指示項目への対応

継続して積極的に改善をしながら活動していく。

進捗の結果を見ながら迅速に対応する。

- ・目標・環境活動計画の達成状況

一般廃棄物の削減項目、燃料(ガソリン)使用量は、達成できまし

水資源使用量の項目・水資源の削減は達成できませんでした。

- ・周囲の変化状況

外部コミュニケーション記録より、近隣住民の方より、洗車について、上田市環境課に通達がありました。

- ・環境経営方針・実施体制

環境経営方針に沿った活動が出来ていると思います。

実施体制の見直しの必要はありません

引き続き継続的改善を実施していく。

- ・環境経営目標・環境経営計画

効率化・分散化状況の変化に合わせ、安全で円滑な収集運搬を行い、引き続き今年度の結果を参考にし継続的な改善を図りながら活動していく。

未達成項目電力・その他の項目についても全員で考えながら行動して行く。

2024年9月3日

代表取締役 若狭 映子